

CHRニュース Vol.41

発行：CHR研究所
発行責任者： 小山田治子

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町 1-24-18-302

Tel 045-561-0777 Fax 045-561-0803

http://www.c-h-r.com eメール chr@c-h-r.com

目下執筆中です 小山田治子

私がまだ事務所を持たず自宅の空き部屋を事務所にしていた昭和63年に、受講生をつなぐ通信の発行を思いつき「えがお通信」と名付けて年に1〜2度のペースで発行してきました。まだパソコンではなく、ワープロの時代です。

皆さんに原稿の協力を依頼して6〜8ページの通信を深夜遅くまで、全て1人作業で続けていました。10号まで発行したところでしたら休刊となり、平成10年に再開するときA4横書き2ページのCHRニュースとなり、編集者が苦勞した分、私は楽をさせてもらえようになりました。

平成15年NPO法人の立ち上げで「心の笑顔通信」の発行を編集長の努力により続けてまいりましたが、昨年の解散に伴い25号が最終記念号となりました。

この度今までの通信を読み返してみますと、CHR研究所やNPO法人心の笑顔サポートセンターのその時々々の活動状況や私のプライベートな部分までもが克明に記されていて、とても懐かしい気持ちになりました。30年近い活動記録ですが、私をはじめ関係して下さった皆さんがまだまだ若く意欲も充分で、まさに頂上を目指して協力していた頃のみんなの熱い思いが伝わってきます。

昨年は変化の年でしたが、CHR研究所は無理のない程度にもうしばらく続けます。そしてCHRニュースも装いを新たに続けてまいります。

通信を発行するのは苦勞も多く、文章を書くのもかなりエネルギーのいることですが、書いている時、私は決して苦痛を感じていないことに気が付きました。文章が得意でもないのですが、書いている時が楽しいのです。

昨年12月、ある出版社から話が持ち込まれて、今までの活動の総まとめともしえる本を書くことになりました。

あれほど忙しかったスケジュールにゆとりができるようになり、これからはCHRの設立時の夢であった「母親教育」をはじめ生涯教育にウエイトを置く仕事に切り替えたいと思っている時にきた話ですので、これも何かのご縁と思い、話に乗ることにしたので。

子育て中の親に是非知ってもらいたい交流分析の理論も入れて、皆さんから伺った体験談を脚色しながら、気軽に読んで活かしてもらえたいと、1月から事務所にいるときはほとんどパソコンに向かっています。

3月末までを目標に原稿を仕上げることになってはいるのですが、読み返しては書き直しの繰り返しで、なかなか進みません。文章力があればと思うのですが、通信を読みかえてみて、その時の気持ちに正直に書かれていて伝わってきますので、これが私の文章なのねと思うことにしました。

6月に全国の書店に並ぶことになっています。

平成26年度定例講座受付中！

詳細はHP又は案内を配布中です。
定例講座のご紹介

☆カウンセリング実践講座

○土曜コース*第2土午前
新設月曜コース*第3月午前



カウンセリングの体験を積む講座です。



交流分析の基礎をじっくり学びます。

☆交流分析基礎2(第2水午後)



間取図を使って、人生脚本を学びます。

カウンセリングスキルアップ講座

只今受付中！

日時 26年3月8日(土)

午後1時30分～4時30分

講師 小山田治子

場所 CHR研究所

現在、仕事としてボランティアとしてカウンセラーをしている人や、カウンセリングの勉強中の方の為のスキルアップの場として、企画致しました。

*お申し込み・お問い合わせはCHR研究所まで。

CHR研究所その他の活動

*電話相談045(561)0875

(水・土) 午前10時～午後4時迄

但し 第2水 午前のみ

第2土 午後のみ

*心の笑顔サロン

(第3木) 夜 7時～9時

(第4木) 午前10時～12時

本の販売

笑顔は心のオアシス

♡ 母親笑顔教室の20年♡

著者 小山田治子

交流分析を学んだ人の多くが、理論はわかって実践は難しいと言われます。子育てや生き方に迷っていた人たちが交流分析と出会い、まず実践してみても、子育てや生きるのが楽になった」などの体験談が参考になると思います。出産祝いや子育てママにプレゼントして喜ばれ、何度も購入して下さる人もあります。

＊ご希望の方はCHR研究所まで。

*紙芝居

○出張紙芝居教室開催

○オリジナル紙芝居の販売



NPサークルの仲間たち

関口裕美

おとしし大切な親友が亡くなってしまった。突然のことで本当にびっくりした。連絡は彼女のお母さんからの電話だった。友人の家族からの電話なんて滅多にあることじゃない。いい知らせじゃないな... 咄嗟に思った。入院した？手術が必要？会いがっている？私の想像を超えたまさかまさかの内容だった。40代、いくらなんでも早すぎる。あまりに急なことだった。会う事も話す事も出来なかった。

準備する時間もなかった。ー無念ー生まれて初めてそう思った。

高校卒業後に進学した専門学校でクラスメートだった。米国留学科・留学準備コース。彼女はとても優秀で落ち着いた雰囲気の人。なんとなく近寄りがたかった。それがいつの間にか話をするようになり、悩みを打ち明けられる数少ない友人になった。

私は1年間で帰国したが、彼女の方は勉強を続け、資格を取り、NYで就職志も高く次々チャレンジして夢を実現していた。私が結婚するまでは2年に1度ぐらい会いに行っていた。「近々いっよ」と電話して往復チケットを持ってフラッと会いに行く。特別何かする訳でもなく、2人でおいしい物を食べて夜中おしゃべりする。私が子育てに忙しくなり、この10年はなかなか連絡できず、会う機会も少なくなっていました。もつと会いたかった。話したかった。聴いてあげたかった。

2011年12月にパスポートが切れた時、夫は海外旅行の予定もないし、決まったら取り直せばと言っていたが、「急に会いに来てって言われたらどうするのよ！子どもを実家に預けてでも私は会いに行くから」と言って申請したばかりだったのだ。いつでも会えると信じていた。

TVである女優が、「親友に会えると思うと私、死ぬのが怖くないんです。」と言った。とてもショウゲキ的だった。私が怖がらないように先に行って待ってくれる。彼女と再会する。何から話そうか。何から聴こうか。一番悔しいのは彼

女のはずだ。

「もつとやりたいことがあったのに突然終わっちゃったんだよ」、「彼女が言う。「一緒に温泉に行きたいねって約束してたのに」、私が言う。

「もおもしろいちゃんたら変わらないなあ」彼女はいつもと同じ優しい笑顔だ。

彼女のことを書くことが随分迷った。遠くにしても、もつと遠くに離れても、親友の存在は大きい。涙しながら書いて良かったと思っている。

○次回は村山悦子さんをお願いします。

* * 編集後記 * *

2月8日の雪は、首都圏でもかなりの積雪となりました。当日CHR研究所主催で、杉溪一言先生の土曜セミナーを予定していたのですが、急遽前日7日に延期を決め、2月15日に変更致しました。当日は朝から雪がつもり始め、午後には交通機関にも影響が出てきましたので、早目の決断をして本当に良かったと思っております。ただ、延期で出られなくなった方には大変申し訳なかったと思っております。15日の土曜セミナーの様子は次号のニュースでお知らせ致します。

CHR研究所

横浜市港北区日吉本町1-24-18-302

TEL 045-561-0777

Fax 045-561-0803